

お見せします！

さっぽろの家計簿



市では毎年、予算の執行状況や決算を公表し、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお知らせしています。ここでは、市の財政状況や平成25年度の決算の概要をお伝えします。

このページに関する問い合わせは企画調査課☎211-2216

さっぽろの財政の今とこれから

今

自ら賄える収入は少ないですが 財政は健全です

他の政令市と比べ、市税などの自主財源から得られる収入が少なく、お金の使い道の自由度も低くなっています。しかし、自治体の財政が良好かどうかを示す「健全化判断比率」は、いずれの指標も健全な水準を維持しています。

■財政力指数 0.692 ■経常収支比率 92.3%

標準的な行政サービスを行うためのお金を、自治体が自ら賄える割合

市税などの経常的に入る財源が、市債の返済などの義務的な経費に充てられる割合

政令市20都市中19位
政令市平均0.844

政令市20都市中7位
政令市平均94.6%

■健全化判断比率(平成25年度の決算のデータを基に算出)

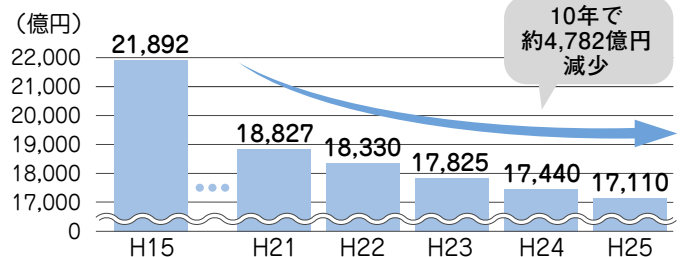
指標	内容	札幌市	早期健全化基準※
実質赤字比率	一般会計等を中心とした会計の赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計の全ての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	6.7%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	78.0%	400%

※この基準を上回ると財政の健全化に向けた取り組みが必要になります

市債残高は10年連続で 減少しています

市債とは市の借金であり、一般・特別・企業会計の市債残高の合計は、約1兆7,110億円。平成24年度末と比べて約330億円減少しました。

■市債残高

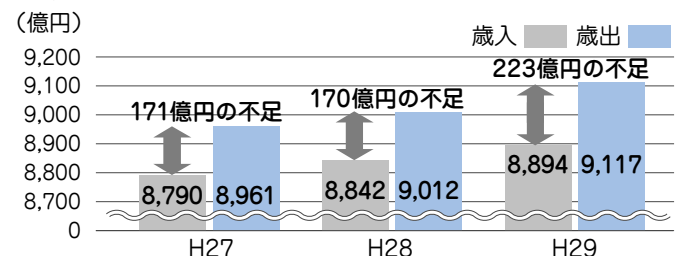


これから

収入の伸び悩みと 支出の増加が見込まれます

働く世代の人口の減少が予想されており、市税などの収入の増加は期待できません。さらに、高齢化に伴い医療などへの支出が増えるため、厳しい財政状況が続きます。

■今後の財政の見通し



お金が足りない状況が続くため、市はお金の使い方や集め方を見直しています

支出の節約を徹底

事務を効率化するほか、人件費の見直しなどを進めます。

公共サービスの見直し

利用者負担や費用に見合ったサービスを提供します。

事業に優先順位をつける

公共事業や臨時の事業は、優先度の高いものから集中的に行います。

財産を有効に活用

今後使用する見込みがない市有地の売却を進めます。